

三重創生ファンタジスタ News

三重創生ファンタジスタ養成に関連した情報をお届けするニュースレターです！

四日市大学生が地域と協働して 「四日市彩サブレ」を開発

四日市大学の学生が、昨年度NPO法人市民社会研究所（伊勢おやき本舗）と一緒に「四日市彩サブレ」を開発し、このほど四日市のタウン誌「よっかいちai」の巻頭特集ページで紹介されました。

「四日市彩サブレ」はご当地キャラクターの「こにゅうどうくん」や「四日市とんてき」、「工場夜景」など8種の四日市の名物・名所がデザインされています。学生がそれぞれの名物・名所の歴史や特徴について取材を交えながら調査して計画を立て、サブレの試作では30回以上にわたる試行錯誤を重ね、四日市の新たな土産品を作り上げました。この取り組みは四日市大学生による研究・地域活動報告会「第5回わかもの学会大会」でも高く評価され、最優秀発表に選ばれています。



参考：<http://www.yokkaichi-cci.or.jp/member-news/6889/>

学生運営の一日限定カフェ 「ほのぼ～の」10周年！



令和2年12月22日(日)、津センターパレスホールにて1日限定のカフェ「ほのぼ～の」をオープンしました。三重短期大学食物栄養学専攻と三重大学教育学部家政教育コースの学生がランチやデザート、ドリンクの提供をしました。

カフェで販売するメニューの立案から調理・営業までを学生が行いました。会場には子ども用の塗り絵コーナーや三重県クイズだけでなく、大門商店街の活性化を目的としたスタンプラリーなど、子供から大人までが楽しめるイベントを用意しました。

店名「ほのぼ～の」のコンセプトにもある通り、お客様はゆったりと時間を過ごし和やかな雰囲気でした。来店したお客様の中には、長期間の営業を希望する人がいるほどの好評をいただきました。1日カフェの運営を通して、学生たちは多くのお客様と接し、やりがいや達成感を感じることができました。



参考：<http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2019/12/post-447.html>

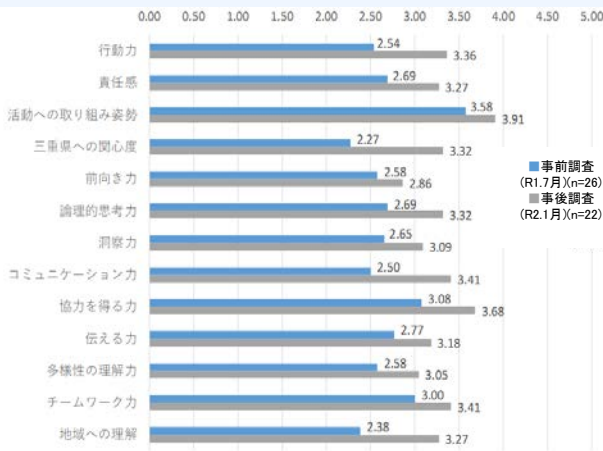
地域活動を積極的に行う学生 の成長度を調査しました

三重創生ファンタジスタクラブに所属する学生（1年生中心）を対象に、クラブでの地域活動が自身の成長にどのようにつながっているかを把握するため、「三重創生ファンタジスタ成長アンケート」を実施しました。本アンケートは、クラブ活動を通じて成長するであろう項目を自己採点で回答するものとなっており、クラブ活動の影響を測定するため、活動が本格化しはじめる前の7月と、地域活動のある程度体験した1月に実施しました。

その結果、1年生の事前アンケート（7月）と事後アンケート（1月）を比較すると、すべての項目において、ポイントが上昇しており、特に「三重県への関心度」、「コミュニケーション力」、「地域への理解」が大幅に伸びていました（本結果は、ポイントが高いほど成長を感じていることを示しています）。ほとんどの1年生は、地域活動が未経験でしたが、ファンタジスタクラブにおいて地域の方々と協働することで、三重県への関心や理解だけでなく、社会で必要とされる能力などを身につけてきたと感じていることが分かりました。

PBL型授業「次世代産業実践」 の事前授業が行われました

令和元年12月14日(土)に、COC+オリジナル科目「次世代産業実践」事前学習を実施いたしました。三重大学から11名、四日市大学から1名の計12名が参加しました。航空宇宙産業をテーマに工場や研究所の見学を含めた集中講義のため、事前知識として1969年、今から50年前の人類が初めて月に到達した際のアポロ計画を題材にして、いかにイノベーションを興していったかの考え方やその反動といったデメリットについて学びました。2020年2月18～20日の日程で集中講義を鈴鹿青少年センターで実施する予定です。



注：本アンケートは、大学コンソーシアム京都の許可をいただき、森正美・大東真生・笠井賢紀・桂良彦・生谷謙次・筑田一毅『京都学生祭典実行委員の活動を通じた成長実感調査Ⅱ～地域活性化の効果検証と今後事業改善に向けて～』（2016年）の「京都学生祭典実行委員の活動を通じた成長についてのアンケート」を改変して使用させていただきました。

鈴鹿大学と三重大学の 地方創生グループが顔合わせ



令和2年1月30日(木)に、鈴鹿大学発ベンチャー企業の「鈴りん探偵舎」と三重大学の地方創生クラブ「三重創生ファンタジスタクラブ」が三重大学の第一食堂で顔合わせをしました。

お互いの取り組み事例や今後の予定などにおいて、情報を交換し、協働で取り組みそうなプロジェクトを模索していました。そのほか、各々がどのような意識で活動しているかなどのお話もしながら、親睦を深めました。

三重創生ファンタジスタの養成は

下記の事業協働機関とともにを行っています

【高等教育機関】四日市大学、四日市看護医療大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿大学、三重県立看護大学、皇學館大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学、三重短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校

【自治体】三重県

【企業(50音順)】 (株)アーリーバード、ICDAホールディングス(株)、(株)医用工学研究所、(有)オズ海島遊民くらぶ、(株)サン浦島、(有)深緑茶房、(株)ZTV、大王運輸(株)、中外医薬生産(株)、辻製油(株)、(株)ドリームエージェント、(株)中村製作所、日本土建(株)、(有)野瀬商店、橋本電子工業(株)、(株)ハツメック、速水林業、万協製菓(株)、(株)光機械製作所、(株)百五銀行、(株)百五総合研究所、(株)ヒラマツ、扶桑工機(株)、(株)前田テクニカ、(株)マサグループ本社、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県中小企業家同友会、三重県農業協同組合中央会、(株)三重ティーエルオー、三重テレビ放送(株)、(株)メディアサポジャパン、(一社)わくわくスイッチ

TOPICS

●COC+が始まって以来初の「三重創生ファンタジスタエキスパート資格」を取得見込の学生が3人誕生します。三重大学の人文学部4年生と教育学部4年生と医学部3年生。

●三重創生ファンタジスタアドヴァンス資格を取得見込の学生が就活を終え、多くの「三重創生ファンタジスタ」が4月から社会人として新生活に挑みます。三重県庁に就職する学生や、三重大学に就職する学生、そのほか事業協働機関から内定を頂いた学生が見受けられました。

●事業協働機関の(株)百五総合研究所からHRIレポート1月号が発刊され、「三重創生ファンタジスタ資格」について大きなトピックとして取り上げられました。

参考URL：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/news/20200114HRI-shinshun.html>

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成
国立大学法人三重大学 地域人材教育開発機構

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/>